

令和3年度第1回北海道総合教育会議

「コロナ禍による子ども達への影響と対応」

参考資料 2

北海道医師会 常任理事
北海道学校保健会 理事

三戸 和昭

「児童生徒および保護者向けの新型コロナウイルスワクチン接種に関する動画」

10月25日 YouTubeにて配信

令和3年10月作成



正しく知ろう

新型コロナウイルスワクチンのこと

北海道・北海道教育委員会・北海道医師会

1



新型コロナワクチンって

「どんな効果があるんだろう？」

「副反応が心配・・・」

「友だちは接種したみたいだけど・・・」

「どう判断したらいいのかな？」

2



説明

新型コロナウイルスワクチンの効果について
新型コロナウイルスワクチンの副反応について
10年後、20年後の影響について
ワクチン接種を適切に判断するために

3



新型コロナワクチンの接種は、強制ではありません

友だちや周りの方などに、接種を強制したり

接種を受けたこと、受けていないことで

差別的な扱いをしたりすることのないよう

ご理解・ご協力をお願いします

4



正しい知識で

接種について考えていただくよう

お願いします

北海道・北海道教育委員会・北海道医師会

5

1

「児童生徒向けのワクチン接種に関するパンフレット」

北海道医師会ホームページ「新型コロナウイルス関連感染症情報」【道民の皆さまへ】に掲載

令和3年9月作成

～子どもへの新型コロナウイルスワクチン接種について～

北海道医師会 地域保健部

令和3年6月から、新型コロナウイルスワクチンの接種の対象が、12～15歳(小学6年生の一部から中学3年生)に拡大されました。

ワクチン接種にあたっては、子どもさんも保護者の方も、

- (1) ワクチン接種を受けるメリットとデメリット、
- (2) ワクチンを受けない場合のリスク

を十分に理解することが大切ですが、さまざまな情報があって迷われることもあろうかと思えます。

つきましては、長崎県医師会において作成されたパンフレット

「12～15歳(小学6年生の一部～中学3年生)のお子さんと保護者の皆様へ『新型コロナウイルスワクチンについて～子どもへの接種に対する考え方～』について」をご紹介します。

また、新型コロナウイルスワクチンに関する相談窓口が下記のとおり設置されております。

新型コロナウイルスワクチンに関する一般相談

【相談窓口】	電話番号	開設時間
厚生労働省電話相談窓口	0120-761770 (フリーダイヤル)	9時00分～21時00分 (土日祝も含む)
北海道新型コロナウイルスワクチン接種相談センター	0120-306-154 (フリーダイヤル)	9時00分～17時30分 (土日祝も含む)

※道内各市町村のコールセンターについては、北海道のホームページでご確認ください。

＜北海道 新型コロナウイルスワクチンに関する情報＞

https://www.pref.hokkaido.lg.jp/hf/kst/covid/wakuchin_2.html

12～15歳(小学6年生の一部～中学3年生)のお子さんと保護者の皆さまへ

新型コロナウイルスワクチンについて

～子どもへの接種に対する考え方～



新型コロナウイルスワクチンは、これまで医療従事者や高齢者から接種が始まり、基礎疾患(持病)のある方、一般成人へと接種が進んでいますが、今年6月から12～15歳(小学6年生の一部から中学3年生)にもワクチン接種が承認されました。

ワクチン接種にあたっては、子どもさんも保護者の方も、(1)ワクチン接種を受けるメリットとデメリット、(2)ワクチンを受けない場合のリスクを十分に理解することが大切です。

子どもへのワクチン接種については、さまざまな情報があって迷われると思いますが、ここでは日本小児科学会・日本小児科医会でもまとめた考え方についてQ&A形式で説明します。

心理的影響で、顔面蒼白になったり失神したりすることがあります。注射や採血で気分が悪くなったことがある方は要注意なので、接種後にすぐ立ち上がらないようにしてください。また横になった状態で接種を行うこともできますので、申し出てください。

まれですが、ワクチン接種後1週間以内に、心臓炎や心膜炎の発生が報告されています。ほとんども軽症であると考えられていますが、胸の痛み、動悸、息切れ、呼吸困難(息苦しさ)などが見られた場合には、速やかに医師の診察を受けてください。

子どもに基礎疾患がありますが接種できますか？

慢性の呼吸器の病気、慢性の心臓病、慢性の腎臓病、神経の病気、重症心身障害(知的障害など)、神経の病気(ダウン症候群など)、免疫力が低下する病気、高度の肥満の場合は新型コロナウイルス感染症により重症化のリスクが高くなる考えられています。ワクチンにより感染や重症化を繰り返すことと期待されていますので、むしろ接種を受けることを考えて、基礎疾患の診療をしている主治医の先生に相談してください。

ワクチンを接種したら、マスクは要らなくなりますか？

ワクチンは重症化を抑え効果は非常に高く、発病を抑え効果も高いですが、感染そのものを防ぐ効果は限られています。知らないうちに感染し、重症化するので十分に気づかず、周囲の人につうつ恐れがありますので、接種後もこれまで通りマスク等の対策は続けてください。

ワクチンの種類は何ですか？

現在日本では12～15歳の小児に認可されているのは、ファイザー社のワクチンと武田/モルナ社製のワクチンです。どちらも有効かつ安全なワクチンで、2回の接種が必要です。接種するワクチンは同じ種類のワクチンです。接種できるワクチンの種類は、市町村で決められていますので、前もって確認してください。

健康な子どもにもワクチンは必要ですか？

デルタ株に置き替わって流行が拡大していく中で、健康な子どもでも入院が必要なケース、中には集中治療が必要な重症例も確認されるようになり、それを防ぐワクチンの接種は必要です。

又、ワクチンだけで感染を完全に防ぐことはできませんが、周囲の人につうつしまう恐れも少なくなりますので、身近な人たちを守ることもつながります。

子どもにもワクチンの効果はありますか？

海外で12～15歳の小児にファイザー社のワクチンの接種が行われ、ワクチンを2回接種した1,119人では、新型コロナウイルスに感染した人は0人でした。一方、ワクチンを受けない1,110人では、18人が新型コロナウイルスに感染しました。

同じく海外で12～17歳の小児にモルナ社製のワクチンの接種が行われ、ワクチンを2回接種した2,489人では感染した人は0人、接種しなかった1,243人では4人が感染しました。いずれのワクチンの場合でも、接種後は高い抗体価が認められました。これらの結果から、ワクチンの予防効果が高いことが期待されます。

ワクチンは安全ですか？副反応の心配はありませんか？

副反応については、上に述べた海外での小児への接種においては、8～9割の人に接種した後の痛み、5～7割の人に疲労感(だるさ)や頭痛、2～4割の人に寒気(震け)や筋肉痛、1～2割の人に3日以上の上の倦怠感が見られると報告されています。若い人ほど、また1回目接種後に2回目接種後に副反応が見られる傾向があります。いずれの症状も接種の日～一日症状は強く、ほとんどの場合は2～3日で回復するようですが、日常生活に支障がある症状が現れるときは医師に相談してください。

非常に稀に接種直後にアナフィラキシーというアレルギー反応が見られることがありますが、ほとんども軽症です。ほとんどの場合回復します。これに対応するため、接種後15～30分間は接種場で様子を見る必要があります。

また、若い人はワクチン接種に際して(特に接種直後)注射の不安や痛みによる

ワクチン注射は痛くありませんか？

ワクチンは通常、上腕(二の腕)上部の筋肉に接種します。痛みの感じ方は個人差がありますが、第一には我慢ですが、採血に使うよりもうんと細い針を使うので、接種時の痛みはそれほど強くありません。

心配し過ぎないで、緊張せず落ち着いて受けてください。

個別接種と集団接種の違いについて教えてください。

個別接種では医療機関(病院、診療所)でそれぞれワクチン接種を受けますが、集団接種では自治体(県や市町)や職場が接種会場を設置し、多くの人が接種します。個別接種では接種に際してきめ細やかな説明や対応が可能で安心して受けられること、自分の状況をよく理解しているかについて医師で接種可能な場合があることがポイントです。しかし接種可能な医療機関が少ないこと、必ずしもかかりつけ医でワクチン接種が実施されているとは限らないことがあります。一方集団接種では大規模に実施できるため接種が早く進むことがポイントです。自治体により実施方法が決まっていますので、個別接種、集団接種が選択できないこともあります。お住まいの市町村の実施方法をご確認ください。

特に集団接種の場合、ワクチンについての誤解や不安がある場合には、事前にかかりつけ医にご相談ください。又、接種後の体調の変化が心配な場合には、ぜひかかりつけ医に診てもらってください。

以上のことを参考に、ワクチン接種を受けるメリットとデメリット、ワクチン接種を受けない場合のリスクなどを十分に考えて、接種を受けるかどうかを慎重に決めてください。

お問合せは

接種の予約・手続きの方法などについては、お住まいの市町村の接種相談窓口にお問い合わせください。

「新型コロナウイルスワクチン接種に関する啓発チラシ」

北海道医師会ホームページ「新型コロナウイルス関連感染症情報」【道民の皆さまへ】に掲載

令和3年10月作成

新型コロナウイルスの感染拡大防止にご協力をお願いします

感染リスクを高めやすい場面に 注意し、対策を徹底しましょう！

感染リスクを高めやすい場面

マスク
なし



換気が
悪い



人と人との
距離が近い



長時間
滞在

1

飲酒を伴う場面



お酒が進んで感染防止の
ガードが下がってしまう

2

仕事後や休憩時間



ホットして、マスクを
外して会話してしまう

3

集団生活



常に行動を共にしている
ため広がりやすい

4

激しい呼吸を伴う運動



換気の悪い閉鎖空間では
ウイルスが滞留しやすい

5 屋外での活動の前後



車での移動や食事中など
に三密が生じやすい

大切な人のため、自分自身のために

正しい知識で

新型コロナ
ワクチン接種を

考えましょう。

新型コロナワクチンには、発症予防・重症化
予防等の効果が認められています。

ワクチン接種に当たっては正しい情報に基づき、そのメリットと
デメリット(リスク)を比較し、ご自身の意思で接種をご検討ください。
ワクチンの接種は強制ではなく、様々な事情で接種を受けること
ができない方もおられることから、接種を受けていない方への不当
な差別・偏見はあってはならないものです。

..... ワクチン接種のメリット・デメリット

メリット

- 大切な方と自分自身の健康と命を守る
- 地域におけるウイルスへの防御を高め、安全で安心感のある社会生活・学校生活を送ることができる
- 変異ウイルスの発生確率を減らすことができる

デメリット

- ワクチン接種後、発熱などの副反応やアナフィラキシー(急性アレルギー反応)が発生することがある

ワクチンの有効性は？

高い発症予防効果^(*)が認められています。

ファイザー社製ワクチンの場合	95%
モデルナ社製ワクチンの場合	94%
【参考】インフルエンザワクチンの場合	60%程度

※海外において数万人単位の大規模な臨床試験が実施された結果に基づくものです。
©厚生労働省 新型コロナウイルスQ&Aより
<https://www.cov19-vaccine.mhlw.go.jp/qa/>



副反応について

ワクチン接種後、体内でウイルスに対する免疫ができる過程で現れる症状です。注射部位の痛みや発熱などの主な副反応は、通常1~2日で出現し、3日以内で改善されることが多いですが、接種後数日たっても症状が残る場合や不安を感じる方は、接種を受けた医療機関・かかりつけ医等の医療機関のほか、下記相談センターにご相談ください。

ワクチン接種
相談センター TEL:0120-306-154
【受付時間】9:00~17:30(平日・土日・祝日)

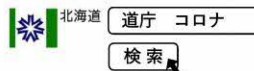
※接種の予約・手続きの方法については、お住まいの市町村にご相談ください。

ワクチンに関する正確な情報等については、以下のホームページ等からご覧いただけます



ワクチンを2回接種しても、基本的な感染対策は必要です。

引き続き、マスク着用・手指の消毒等、新型コロナウイルス感染症の対策へのご協力をお願いします。



■北海道新型コロナウイルス感染症健康相談センター
0120-501-507 (フリーダイヤル)
※札幌市・旭川市・函館市・小樽市にお住まいの方は、各市の保健所へお電話ください。